



旅するがっこう 2025.8.18-20

伊那 森のあそび場づくりキャンプ

NPO法人 くにたち農園の会
東京都国立市谷保5119
やぼろじ内（事務局）
連絡先：042-505-7200
kunitachinouen@gmail.com

小学校1年生から高校1年生までの参加者。
いつも以上に、大家族のような縦のつながりがたくさん見られた旅でした。

○ツリーハウス

昨年度は床面をロープでぐるぐる巻きにしたツリーハウスを作り、次は「常設のものを作る」と張り切っていたリピーターさんたち。自分たちで場所を決め、インパクトを使いこなして作り上げました。講師のせいうちさんから、斜めに板を入れた方が強度が出ることなど要所でアドバイスをいただきながら、ブランコやテーブル、『森カフェ』の看板がつき、子どもたちで作ったとは思えないほど立派なツリーハウスが完成！！もっとこうしたい！というアイデアも止まらず、今後もまだまだ進化していきそうです。



○薪割り、火おこし

子どもたちの力でも割れる油圧式薪割り機を使って、薪割りをしました。さくらはものすごく重くて硬いこと、赤松は割れると松ヤニが出てくることなど発見。本来、薪は乾かしてから使うのですが、自分で割った薪を使って火おこしをして料理を作りたい！と、煙モクモクも楽しんでいました。



○動物とのふれあい

犬、うさぎとふれあいました。ドックラン作り、散歩、餌やりなど、お世話をしてくれました。はじめは怖がる子もいましたが、抱っこをして上手に触れ合っていて、嬉しそうな笑顔が印象的でした。



じゃがいも掘りや焚き火での食事作り、鹿の骨発掘(2年前に骨格標本をつくりたいと埋めたもの)、森遊び、虫探し、竹細工、星空観察、花火、トランプ、テントで寝たこと、流しそうめんならぬ”止まりそうめん”などなど、思い思いに自然の中で活動。リピーターさんの高学年の子どもたちはツリーハウス作りに精を出し、はじめましての子やはじめてに近い子は、やっぱり火が大好き。いろんな活動ポイントに出たり入ったりしていました。



旅するがっこうのキャンプでは、『全員がプログラムとして同じことをやる平等』ではなく、『一人ひとりがやりたいことを存分にやれる平等』という視点を持って活動しています。

そのため、上に挙げた活動の中には、やらなかった活動もあると思います。見たり聞いたりしながら、次はやってみようかな、とわくわくの種になり、少しずつ興味関心が広がるきっかけになると嬉しいです。せっかく行ったのだから全部やってみたら？と思いがちですが、「今回は〇〇に夢中になった！」「〇〇ができるようになった！」という子どもたちのありのままの姿を大切にしたいと思います。



今回活動した『そらっこの森』は、手が入っていない森を少しずつ少しずつ整備して、ようやく遊べるようになってきました。子どもたちが遊ぶと地面が踏まれて草が生えなくなったり、ちょっとお邪魔な木を切ったりと、森も元気になります。

これからも子どもたちと一緒に成長していく、そんな森でありたいと思います。